

LS13A

受験番号

2011 年度 甲南大学法科大学院入学試験問題

## 専門論文試験 商法

(60分)

### 受験についての注意

1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはならない。
2. 問題は1ページのみである。印刷不鮮明、汚損等があれば申し出ること。
3. 解答用紙は1枚である。解答用紙には裏面もあるので注意すること。
4. 答えは、横書きとする。
5. 答えは、実線内の番号に従って書き進めること。
6. 答えは、黒ボールペンまたは黒インクの万年筆で記入すること。これら以外で記入された答えは、無効となる。
7. 答えを訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、1行の場合には横線で消して、その次に書き直すこと。
8. 下書きには、問題冊子の余白を適宜利用すること。
9. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

## 専門論文試験 商法

### 〔設問〕

A会社は、電子部品の製造・販売業を営む株式会社（公開会社・監査役設置会社）である。平成21年6月26日開催のA会社の定時株主総会において、B・C・Dを取締役に選任すること（任期は平成23年6月開催予定の定時株主総会の終結時まで）、取締役の報酬総額の上限を2億円とし、その範囲内で取締役会が各取締役の報酬額を定めるべきことが決議された。その直後に開催された取締役会において、各取締役の職務内容および報酬額（B：代表取締役社長・報酬月額300万円、C：取締役副社長・報酬月額200万円、D：営業担当取締役・報酬月額100万円）が決議された。ところが、平成21年8月頃から、B・C間に、A会社の経営方針をめぐる、深刻な対立が生じた。Bの不興を買うことをおそれたDがBに賛同したことから、平成21年10月26日開催の取締役会において、Cを副社長から非常勤取締役に降格させること、および、職務内容の変更に伴い、Cの残任期間の報酬月額を10万円に減額することが、Cの反対にもかかわらず、決議された。平成21年10月27日に、Cから上記の職務内容の変更と報酬月額の減額について相談を受けた弁護士Eは、Cに対して、どのような助言をすればよいか。